

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東洋Fデザイン専門学校	昭和27年5月30日	小寺 克一	〒535-0021 大阪府大阪市旭区清水1-1-6 (電話) 06-6951-0692				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人東洋学園	昭和30年4月22日	小寺 克一	〒535-0013 大阪府大阪市旭区森小路2-21-1 (電話) 06-6954-0801				
目的	本校はファッション専門課程を設置してファッション全般の理論と技術を修得せしめ、ファッションに関する指導的役割を果たす人材の養成と併せて近代人としての教養を高める事を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政	ファッション専門課程	ファッション科	平成6年文部科学省告示 第84号	0			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3420	330	390	2880	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
120人	4人	4人	5人	9人			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 5段階(出席率+課題、試験等で評価)			
長期休み	■夏季:7月21日～8月31日 ■冬季:12月21日～1月7日 ■学年末:3月21日～4月7日		卒業・進級 条件	出席は90%以上。評価は各科目が5段階で2以上。38単位以上修得が進級の条件。3年間で114単位以上修得が卒業の条件。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 担任から本人または保護者に連絡をとり、学校で面談する。改善の様子がなければ、担任と副校長で再度面談。場合により家庭訪問をおこなう。		課外活動	■課外活動の種類 5月と2月に美術館・博物館に校外研修。6月と12月に観劇(宝塚歌劇団や劇壇四季等)。 ■サークル活動: 無			
就職等の 状況	■主な就職先、業界等 ボンシャレル(株)、フォルムアイ(株)、ビックママ(株)、(株)アサヒファイブ ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 75% ■その他 (平成27年度卒業者に關する平成28年5月1日時点の情報)		主な資格・ 検定等	パターンメイキング技術検定(3,2級) ファッションビジネス能力検定(3,2級) ファッション販売能力検定(3,2級) 色彩能力検定(3,2級) 洋裁技術検定(初、中、上級)			
中途退学 の現状	■中途退学者 0名 平成27年4月1日時点において 在学者 6名 平成28年3月31日時点において 在学者 6名 ■中途退学の主な理由 過去に退学者がいた時の主な理由は、経済的に学業を続けるのが無理な事と進路を変更したため。		中退率	0% (平成27年4月1日入学者を含む) (平成28年3月31日卒業者を含む)			
ホームページ	URL: http://www.toyofashion.ac.jp						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ファッションクリエイターコースの授業内容の主となるものが、服を製作し完成させるまでの工程に関する知識と技術の習得であるため、デザインの企画、パターン、縫製技術に関する授業科目の中で、その業務をおこなう企業による研修や講義により、将来の目的意識を高めたり、就職先に必要な技術の習得やスキルアップができることを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

学校法人東洋学園の中に理事会があり、その中の本校校長から下部に各部会があるが、それと平行して教育課程編成委員会を組織・実施している。(別紙資料参照)構成メンバーは、本校校長の他、ファッションクリエイトに関連する企業の委員と業界全体の動向に関する知見を有する業界団体等の役職員を委員として参画してもらい、委員会運営に関する事務的な業務は本校教員がサポートすることとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年10月3日現在

名前	所属	任期	種別
吉木 学	協同組合新大阪センシティー 理事長	平成27年12月21日～平成29年3月31日	①
鈴木 弘美	株式会社インブルーヴ 代表取締役	平成27年12月25日～平成29年3月31日	③
玉井 純子	ボン・シャルル株式会社 営業部長	平成27年12月21日～平成29年3月31日	③
藤本 光栄子	fashionstudio Mieko Style 代表	平成27年12月23日～平成29年3月31日	③
小寺 克一	東洋Fデザイン専門学校 学校長	平成27年12月21日～平成29年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年度内に委員会による会議を2度行うこととし、原則として9月と2月に日程を調整のうえおこなう。

(開催日時)

第1回 平成28年2月2日(火) 18:00～19:30

第2回 平成28年9月27日(火) 18:00～19:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

平成28年2月2日に行われた会議において提案された意見を平成28年度のカリキュラムに反映させた。PCが使いこなせるスキル(ネット販売の多様化)に対しては従来よりおこなっているCGの授業の中で、フォトショップなどの画像処理の技術に関する内容を増やしたり、パターンの基礎的な知識として「ターツ展開の重要性」をご指摘いただいたので、1年生から理解出来るよう授業の内容に取り入れている。また9月27日に行われた会議においてもネット上の検索率を分析するためのスキルアップを図ればどうかとの指摘があったので、関連ソフトの使用内容等を入れていく方向である。感性の高い人材がほしいという意見があり、カリキュラムにどう取り入れていくかが今後の課題である。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界理解を深めるため、職場見学や現場研修などの協力が得られる企業、業界団体を選定している。またファッションクリエイターとして仕事をするうえで必要となるデザイン力やプレゼンテーション能力などが身につけられるような課題設定等を行うにあたり、ノウハウ等の提供や指導方法等への助言などの協力が得られる体制をとることが可能な企業・業界団体を選定している。現場での商品の製作実習を通じて、プロとしての意識のもち方を学び、学校での実習で向上させるべき基本的な技術とは何かを理解させることや、仕事の内容の理解度を深め、就職先とのミスマッチを軽減させること等を基本的な方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

企業実習の協力を受け入れてくれる企業等と実施前に1～2回の打合せをおこなう。実習内容や日程の調整など詳細について決定し、学生の評価等について定める。実施期間中作業現場を担当教員は訪問し、実習状況の確認と情報交換を行う。実習終了後学生の業務日誌を確認し、実習担当者による評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。1年生…業界理解のための講義、現場見学。将来の目標のビジュアル表現とプレゼンテーション。2年生…縫製工場等での現場での実習。現場見学等。3年生…縫製工場やアパレルメーカー等での現場での実習。デザインの企画提案や現場見学等。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
企業実習	ファッション業界の仕事についての講義。目標の設定とそこから逆算で今後どのように行動するかを計画する課題に対して各自がプレゼンテーションするための表やマップを作成する。会社のオフィスにおいて企業側にプレゼンテーションをさせる。業界理解とプレゼンテーション能力の向上。	株式会社インブルーヴ
企業実習	プレタポルテ製品製作の現場見学。縫製作業の方法(アイロン掛けやネームタグの取り付けなど)を実習により習得する。	吉井服装株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

企業に役立つ人材育成のため学生を指導する上で教員が学ばなければいけない点は、現在企業で必要とされる基本的な技術力とは何かを理解し、社会生活におけるマナーと共に学生に習得させることであると考えられる。これらを踏まえ「企業に役立つ人材育成のためにクリエイターに必要な基本的な知識や技術を体系的に習得する。」ことを基本方針とし、企業と連携して組織的に研修を行うこととする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

平成27年度は、学校関係者評価委員会での意見を取り入れ、(株)インブルーにおいて、専門的な用語を中国語、英語に置き換えた資料作成の方法や講義のやり方を教わる(H28.3/17)。研修対象:服飾造形担当教員1名、パターンの担当教員1名。また企業連携先ではないが、清原(株)でおこなわれたパリ・ミラノ店頭報告、副資材等のサンプル見学に参加(H27.12/3)。研修対象:パターン担当教員1名。同じく清原(株)でおこなわれた日東紡績(株)の佐野氏によるマントのパターンの分析や新しい芯についての研修を受ける(H28.1/28)。研修対象:パターン担当教員1名。

② 指導力の修得・向上のための研修等

「一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会」(以下「大専各」)主催の部落問題学習会(H28.1/26)に参加。研修対象:進路担当教員1名。同じく「大専各」主催の教職員研修委員会、教職員のための指導力向上講座「アクティブラーニングとは」(H28.3/18)を受講。研修対象:教員(副校長補)1名。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

紳士服製造をおこなうファイブワン・ファクトリー(株)において工場見学と学生が就職後に必要とする基本的な技術を理解するための現場での研修に参加する予定。研修対象:服飾造形担当教員1名。また東レAGS(株)のCADソフトのグレーディングに関する操作方法の講習会に参加(H28.10/19~21)。研修対象:パターン担当教員1名。

② 指導力の修得・向上のための研修等

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団主催の「未来ノート」によるキャリア教育の考え方と進め方の研修会に参加(H28.9/8)。研修対象:進路担当教員1名。本校独自の管理者研修会に参加。(H28.8/26)。研修対象:教員(副校長補)1名。「大専各」主催の「教職員のための指導力向上講座」に参加(H28.10/31)。研修対象:教員(副校長補)1名。「大専各」主催の「人権教育に関する研修」を受講する予定。研修対象:教員(副校長補)1名。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。自己評価結果を踏まえ、本校関係者による評価(学校関係者評価)を行い、その結果を教育活動に活用するとともに公表するものとする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人物像・特色・将来構想
(2) 学校運営	運営方針・事業計画・学校組織・制度・意思決定システム・情報のシステム化
(3) 教育活動	教育目標・人材育成像・カリキュラムの編纂・授業評価・教員・成績評価・資格の指導体制・地域との連携
(4) 学修成果	就職率・資格取得率の向上・退学率の低減・卒業生等の把握
(5) 学生支援	就職等の指導体制・学生相談・経済的支援・健康管理・課外活動・学生寮・保護者との連携・卒業生への支援・国際教育交流
(6) 教育環境	施設・設備・学外実習等の教育体制・防災体制
(7) 学生の受入れ募集	募集活動・入学選考・学納金
(8) 財務	中長期的な財務基盤・予算、収支計画・会計監査・財務情報公開の体制
(9) 法令等の遵守	法令、設備基準等の運営・個人情報・自己点検、自己評価の実施と公開
(10) 社会貢献・地域貢献	施設を使用した社会貢献・ボランティアの支援
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

評価結果を踏まえ、改善できることから活用することを進めている。グローバル化に対応できるように語学力が必要という意見があり、まず学生に配付する資料の基本的な専門用語に英語、中国語の訳を加えることを始めた。千林商店街とのイベント等への協力では、ハロウィンパレードの実行委員のボランティアへの参加の呼びかけをおこなった。高等学校との連携では、東洋学園高等専修学校が参加する城北フェアでのショーにおいて、本校教員がヘアメイクやフィッティングの協力をおこなった。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年10月3日現在

名前	所属	任期	種別
寺野 雅之	大阪府立茨田高等学校 元校長	平成27年10月29日～平成29年3月31日	高校関係者
鈴木 弘美	株式会社インブルー 代表取締役	平成27年10月29日～平成29年3月31日	企業等委員
西川 徹	千林商店街振興組合 元理事長	平成27年11月16日～平成29年3月31日	地域住民
藺崎 進	東洋Fデザイン専門学校 卒業生	平成27年11月18日～平成29年3月31日	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() () 公表時期:平成28年9月28日

URL:http://www.toyofashion.ac.jp

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。評価委員会の前に自己評価結果を学校関係者に送付し内容を確認していただき、本校関係者による評価(学校関係者評価)を行なっていただくことを基本方針とする。その結果を教育活動に活用するとともに公表するものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	理念・目的・育成人物像・特色・将来構想、学校紹介
(2)各学科等の教育	教育目標・人材育成像・カリキュラムの変遷・各科目の位置づけ、コース紹介
(3)教職員	教員の確保
(4)キャリア教育・実践的職業教育	資格の指導体制・就職率・資格取得率の向上・インターンシップ、産学協同プロジェクト
(5)様々な教育活動・教育環境	地域との連携・課外活動・施設・設備・学外実習
(6)学生の生活支援	学生相談・健康管理・学生寮、学生マンションのご案内
(7)学生納付金・修学支援	退学率の低減・経済的支援・学納金、学費について
(8)学校の財務	中長期的な財務基盤・予算、収支計画・会計監査・財務情報公開の体制、情報公開
(9)学校評価	自己点検、自己評価の実施と公開、学校評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.toyofashion.ac.jp>

授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッション科) 平成28年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○				服飾造形	採寸方法、原型製作、パターン製作をベースにブラウス&パンツ&ジャケットを段階的に製作し、襟・袖等の縫い方を学ぶ	1通	240	8	△		○	○		○		
○				パターン(検定講座含む)	採寸から原型の製作デザイン展開によるパターンの製作&修正をブラウス、パンツ、ジャケットの段階で制作方法とポイントを学ぶ	1通	210	7	△		○	○		○	△	
○				ディテール	ブラウス、パンツ、ジャケットの段階的な製作に合わせて、袖、襟、ポケットのデザイン展開を各パーツのみを製作して学習する	1通	90	3	△		○	○		○		
○				ファッションデザイン画	ヌードボディから衣服着装状態を表現し、素材や柄の表現方法を学習し、デザインの表現力を学習する。	1通	120	4			○	○				○
○				商品企画	自分の洋服ブランドを考える！ターゲットの設定、ブランド価値/コンセプトの設定/予算製作/商品の計画を順序立てて学習する。	1通	120	4	△	○		○		○		
○				素材・テキスタイル	天然素材/化学素材の分類、織物/編物の違いから3大組織など、原料からテキスタイルデザインの本質を学習する。	1後	60	2	○	△		○		○		
○				ファッションスタイリング	シーズン/TP0/色彩学/を踏まえ、洋服からアクセサリメイクまで対象者のキャラクターを最大限に活かすスタイリング理論	1通	60	2	○	△		○				○
○				カラーリング	色名、色相環、色彩の感情効果、配色理論ファッションとインテリアの関係、ライフスタイルの色彩感をカラーチップ等用いて学習する	1前	30	1	○	△		○		○		
○				グラフィック・ワーク	MACを用いてイラストレーター&フォトショップ等のグラフィックソフトを使用しケーススタディーを基に作品制作する。	1後	30	1			○	○		○		
○				CGデザイン実習	PC/手描き/写真等の様々な表現手段を使用して、外部コンテスト入選のを目指すカリキュラム	1前	30	1			○	○		○		
○				企業実習	企業と連携し、施設内での専門業務の実習体験や提供された課題を評価して頂く等で、将来の職業観の育成を計る。	1後	30	1			○	△	○			○
合計					11 科目	1020単位時間(34単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各学年で必修科目34単位と選択必修科目から4単位以上を修得し、三年間で114単位以上を修得することが卒業の要件。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッション科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			服飾造形	ジャケット&コートを段階的に製作し、襟・袖等の縫い方を学ぶ	2通	240	8	△	○	○	○				
○			パターン (検定講座含む)	原型から製作デザイン展開によるパターンの製作&修正をジャケット&コートの段階で制作方法とポイントを学ぶ	2通	180	6	△	○	○	○		△		
○			ディテール	ジャケット&コートの段階的な製作に合わせて、袖、襟、ポケットのデザイン展開を各パーツのみを製作して学習する	2前	30	1	△	○	○	○				
○			ドレーピング	ブラウス/スカート/JK等の立体によるトワル製作	2通	120	4	△	○	○	○				
○			トワル実習	デザイン画/パターン製作/トワル組み立てに特化した集中授業	2通	60	2	△	○	○	○				
○			アパレルCAD	CADの操作方法/パソコン上でスカート/ワンピースのパターン製作	2通	60	2		○	○	○				
○			ファッションデザイン画	ヌードボディーから衣服着装状態を表現し、素材や柄の表現方法を学習し、デザインの表現力を学習する。	2通	120	4		○	○			○		
○			商品企画	自分の洋服ブランドを考える！ターゲットの設定、ブランド価値/コンセプトの設定/予算製作/商品の計画を順序立てて学習する。	2通	120	4	△	○		○		○		
○			グラフィック・ワーク	MACを用いてイラストレーター&フォトショップ等のグラフィックソフトを使用しケーススタディーを基に作品制作する。	2後	30	1		○	○	○				
○			企業実習	企業と連携し、施設内での専門業務の実習体験や提供された課題を評価して頂く等で、将来の職業観の育成を計る。	2後	30	1		○	△	○			○	
○			ビジネスマナー	就職活動に向けての自分プロモーションの方法を働く事の意味を理解する。履歴書/エントリーシートの書き方/面接対策	2後	30	1	△	○		○			○	
合計				11 科目	1020単位時間(34単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各学年で必修科目34単位と選択必修科目から4単位以上を修得し、三年間で114単位以上を修得することが卒業の要件。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッション科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			服飾造形	フォーマル/アンサンブルを段階的に製作し、襟・袖等の縫い方を学ぶ	3通	300	10	△		○	○		○		
○			パターン (検定講座含む)	原型から製作デザイン展開によるパターンの製作&修正をフォーマル/アンサンブルの段階で制作方法とポイントを学ぶ	3通	180	6	△		○	○		○	△	
○			ディテール	フォーマル/アンサンブルの段階的な製作に合わせて、袖、襟、ポケットのデザイン展開を各パーツのみを製作して学習する	3後	30	1	△		○	○		○		
○			ドレーピング	袖のバリエーション/テラードJK等の立体によるトワル製作	3通	90	3	△		○	○		○		
○			トワル実習	デザイン画/パターン製作/トワル組み立てに特化した集中授業	3通	60	2	△		○	○		○		
○			アパレルCAD	パソコン上でマーキング/グレーディング/デジタイザ入力	3通	60	2			○	○		○		
○			ファッションデザイン画	ヌードボディーから衣服着装状態を表現し、素材や柄の表現方法を学習し、デザインの表現力を学習する。	3通	120	4			○	○		○		
○			商品企画	自分の洋服ブランドを考える！ターゲットの設定、ブランド価値/コンセプトの設定/予算製作/商品の計画を順序立てて学習する。	3通	120	4	△	○		○		○		
○			グラフィック・ワーク	MACを用いてイラストレーター&フォトショップ等のグラフィックソフトを使用しケーススタディーを基に作品制作する。	3後	30	1			○	○		○		
○			企業実習	企業と連携し、施設内での専門業務の実習体験や提供された課題を評価して頂く等で、将来の職業観の育成を計る。	3後	30	1			○	△	○			○
合計						10科目	1020単位時間(34単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各学年で必修科目34単位と選択必修科目から4単位以上を修得し、三年間で114単位以上を修得することが卒業の要件。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッション科) 平成28年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			デザイン&パターンI	自由に作図したカタチを平面のパターンに表現する初級のテクニックを習得する	全前	30	1	△		○	○		○		
	○			デザイン&パターンII	自由に作図したカタチを平面のパターンに表現する中級のテクニックを習得する	全前	30	1	△		○	○		○		
	○			デザイン&パターンIII	自由に作図したカタチを平面のパターンに表現する上級のテクニックを習得する	全前	30	1	△		○	○		○		
	○			デザインワークI	平面構成&立体構成の基礎知識とテクニックを学習し、モノの見えから見せ方感じ方を学習する	全前	30	1	△		○	○		○		
	○			デザインワークII	平面構成&立体構成のテクニックをさらに上達させるため、テーマにあわせた作品製作で造形力やデザイン力を養う	全前	30	1	△		○	○		○		
	○			服装史	衣服の発生とその時代背景の関係を体系的に映像&歴史的資料を用いて学習する	1,2後	30	1	○	△		○		○		
	○			モード史	20世紀に活躍した有名デザイナーの活動ら流行現象を映像&写真を用いて、デザイナー達の価値の創造を学習する。	1,2後	30	1	○	△		○		○		
	○			染色実習I	天然繊維/化学繊維等の素材別異なる染色方法&染色条件を理解し、服飾素材の品質を理解する	全前	30	1			○	○		○		
	○			染色実習II	課題作品を製作することにより、様々な染色方法を実習を通じて理解する。	全前	30	1			○	○		○		
	○			ファッションビジネス講座I	ファッションビジネス検定3級のビジネス知識/造形知識2分野の検定取得をする為の集中講座	1,2前	30	1	○	△		○		○		
	○			ファッションビジネス講座II	ファッションビジネス検定2級のビジネス知識/造形知識2分野の検定取得をする為の集中講座	1,2前	30	1	○	△		○		○		
	○			ファッション販売講座I	ファッション販売検定3級のA科目/B科目の2分野の検定取得をする為の集中講座	1,2前	30	1	○	△		○		○		
	○			ファッション販売講座II	ファッション販売検定2級のA科目/B科目の2分野の検定取得をする為の集中講座	1,2前	30	1	○	△		○		○		
	○			クロッキーI	肉体の構造&動きによる肉体変化を観察する事で、モノを観察する力を養う	全後	30	1			○	○		○		
	○			クロッキーII	鉛筆、パステル、墨など様々な画材で表現する力を養う	全後	30	1			○	○		○		
		○		コンテスト製作実習	ファッション関連のコンテスト出展し入賞を目指す作品を製作する講座	全前	30	1			○	○		○		
		○		校外研修	展覧会・美術館・研修会に参加しアイデア収集活動の時間	全通	30	1			○		○	○		
		○		インターンシップ	企業等の施設で数日間実務に関わり、業務の流れ及び専門用語の理解を現場で実体験する	全通	30	1			○		○			
合計					18科目			540単位時間(18単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各学年で必修科目34単位と選択必修科目から4単位以上を修得し、三年間で114単位以上を修得することが卒業の要件。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。